

合志市ヤングケアラー実態調査結果

小学4年生から中学3年生の生活実態に関する調査を行い、本市におけるヤングケアラーと思われるこどもを把握し、必要な支援につなげる仕組みづくりの検討を行うための資料作成を目的として実施

調査対象者:

(1)市内の小学校8校に在籍する児童(4年生から6年生) 2,543名

(2)市内の中学校4校に在籍する生徒(1年生から3年生) 2,384名

調査期間: 令和6年7月8日(月)~令和6年7月18日(木)

調査方法: WEBおよび紙によるアンケート

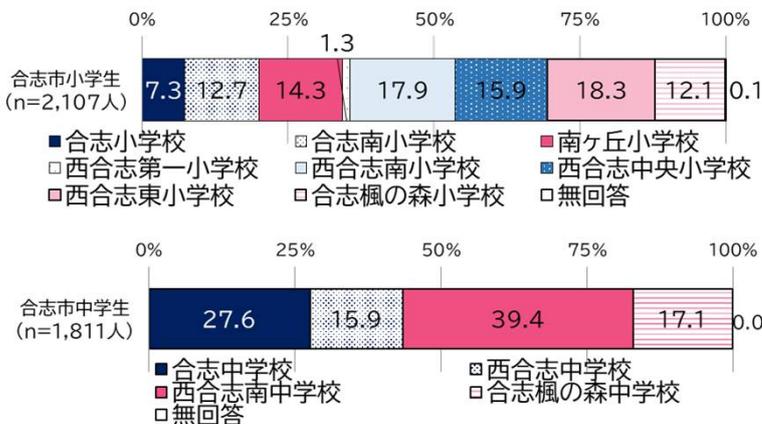
回収結果: (1)小学生 2,107票 (82.9%)

(2)中学生 1,811票 (76.0%)

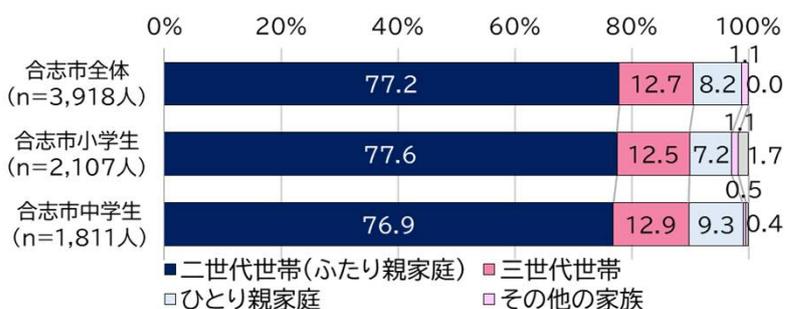


基本情報

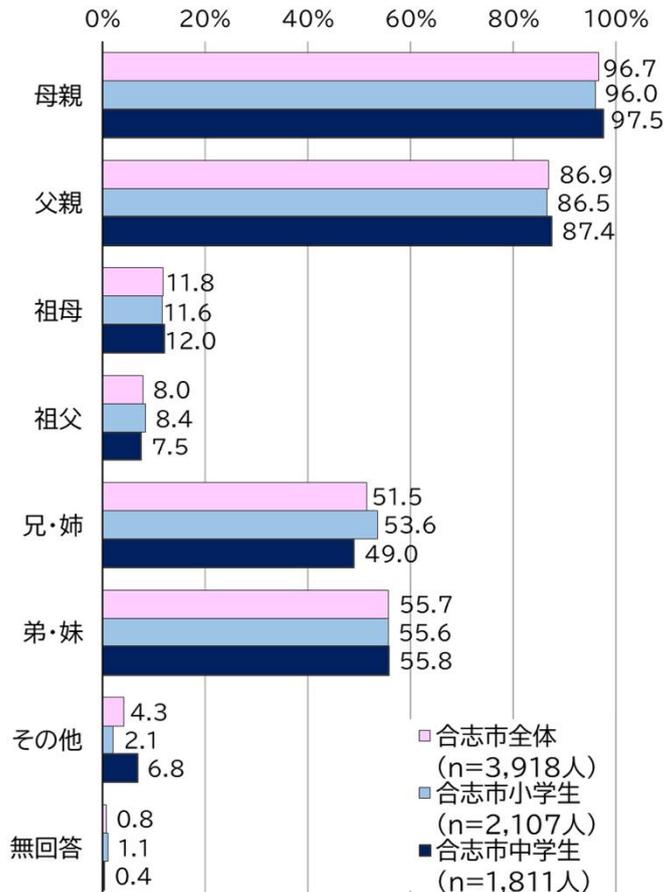
所属学校



家族構成



同居家族



■ 調査結果

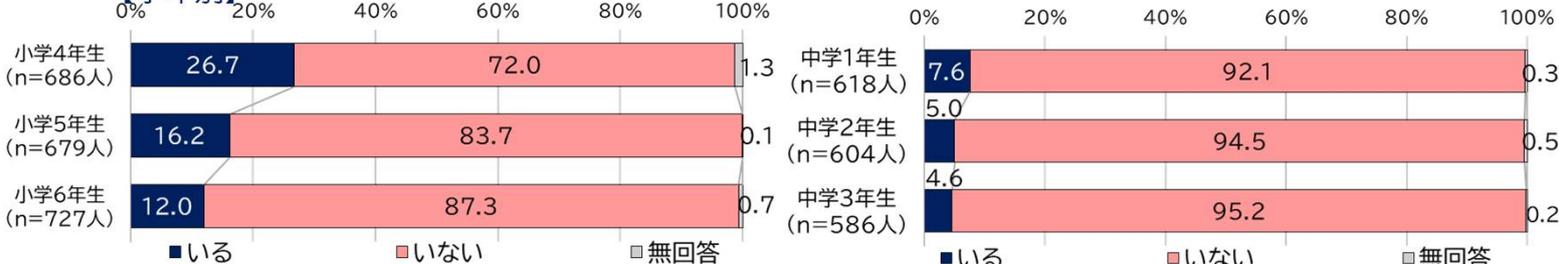
(1) 家族の世話をしていることについて

- 家族の世話をしていると回答した人
 - 小学生で384人(18.2%)、中学生で104人(5.7%)
- 世話を必要としている家族
 - 小学生では「きょうだい」が最も高く65.9%、次いで「母親」が30.2%
 - 中学生では「きょうだい」が最も高く74.0%、次いで「母親」が16.3%
- 世話の内容について回答割合が高い項目
 - 小学生では「見守り」、「身体的介護(着がえやおふろ・トイレの手伝いなど)」、「家事(食事の用意、後片付け、掃除、洗濯、買い物)」等
 - 中学生では「見守り」、「家事」、「外出の付き添い」等

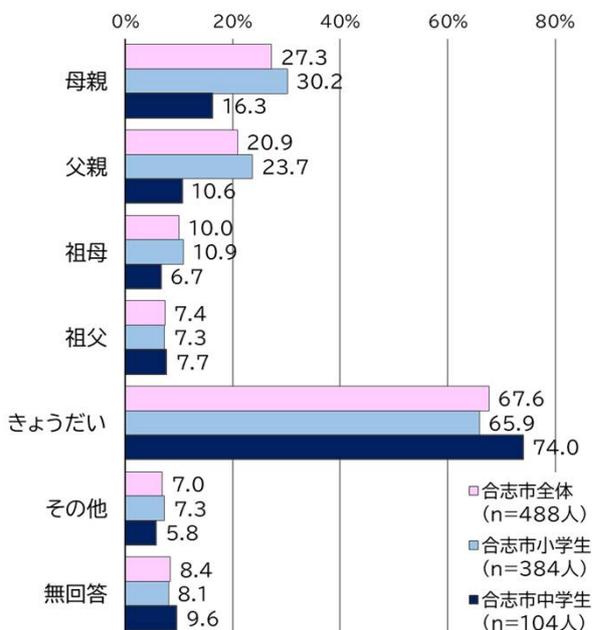
◆ 世話の有無



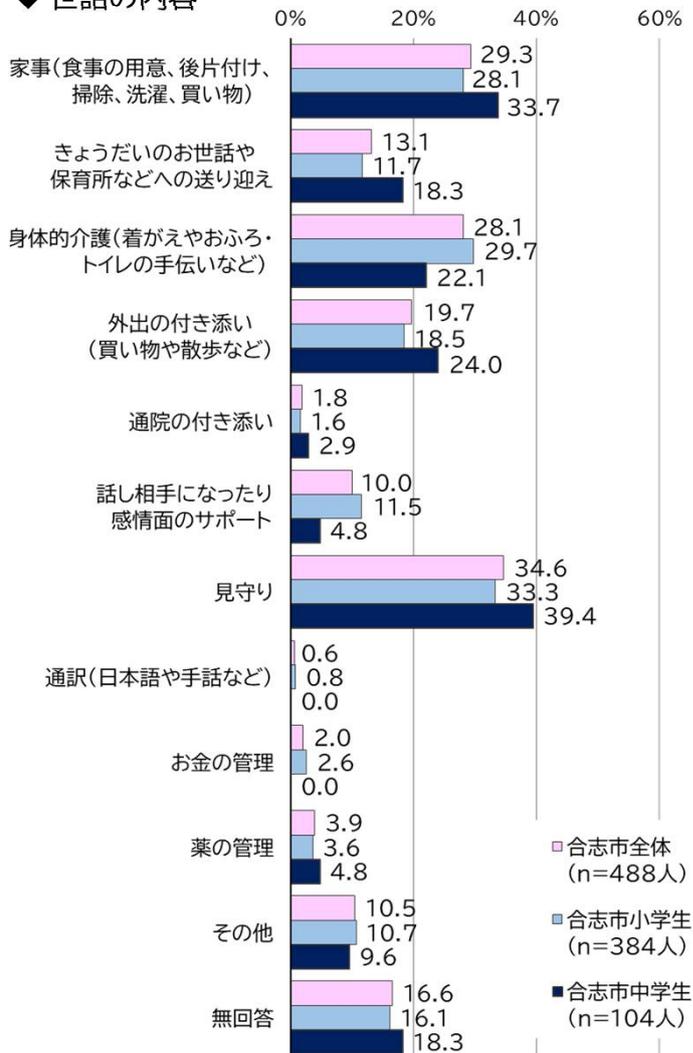
【学年別】



◆ 世話を必要としている家族



◆ 世話の内容



(2)世話による制約があることについて

- 世話をしているために生活への影響がある人
 - 小学生で98名(対象者2,543名の3.8%)、中学生で29名(対象者2,543名の1.2%)
 - お世話に大変さを感じている人*は小学生で38人(同じく1.5%)、中学生で25人(同じく1.0%)
*「体力の面で大変」「気持ちの面で大変」「時間的に余裕がない」について1つ以上回答している人
- 世話に費やす時間と人数
 - 平日1日あたり3時間以上費やしている小学生は39名、中学生は9名
 - 休日1日あたり7時間以上費やしている小学生は26名、中学生は6名
 - 小学生については、中学生より世話に費やす時間が長い傾向があり、生活への影響度が高い

◆ 制約の有無

		下調査数は人数、 調査数は%	生活への影響がある	生活への影響がない	無回答
合志市小学生	世話をしている家族がいる	384	98	240	46
		100	25.5	62.5	12.0
合志市中学生	世話をしている家族がいる	104	29	57	18
		100	27.9	54.8	17.3

◆ 大変さ

		下調査数は人数、 調査数は%	体力の面で大変	気持ちの面で大変	時間的に余裕がない	特に大変さを感じていない	無回答
合志市小学生	生活への影響がある	98	19	13	19	56	4
		100	19.4	13.3	19.4	57.1	4.1
合志市中学生	生活への影響がある	29	5	12	15	4	0
		100	17.2	41.4	51.7	13.8	0.0

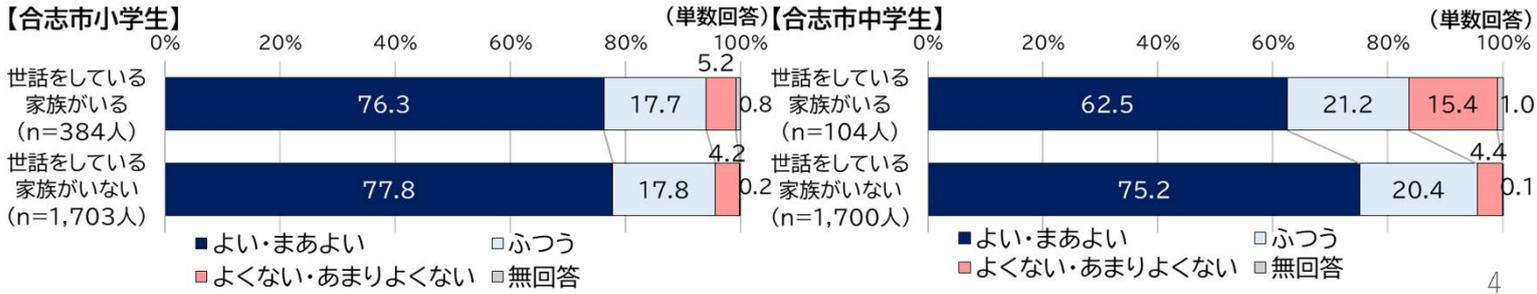
◆ 費やす時間

		下調査数は人数、 調査数は%	平日1日あたりの世話に費やす時間				休日1日あたりの世話に費やす時間			
			3時間未満	3~7時間未満	7時間以上	無回答	3時間未満	3~7時間未満	7時間以上	無回答
合志市小学生	生活への影響がある	98	58	26	13	1	48	22	26	2
		100	59.2	26.5	13.3	1.0	49.0	22.4	26.5	2.0
合志市中学生	生活への影響がある	29	20	9	0	0	17	6	6	0
		100	69.0	31.0	0.0	0.0	58.6	20.7	20.7	0.0

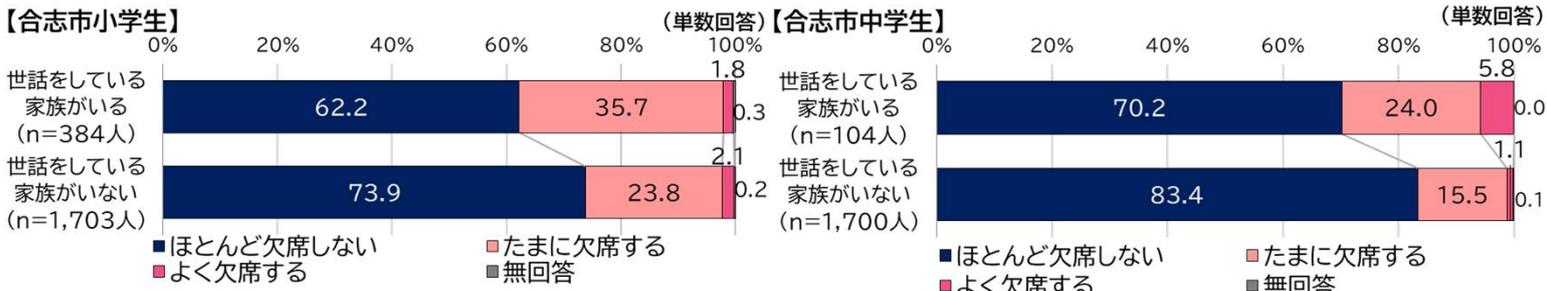
(3)世話による学校生活への影響

- 小学生では、世話をしている家族が「いる」と回答した人は「いない」人に比べ、
 - 欠席を「たまにする」割合が1割程度高い
 - 学校生活において「持ち物の忘れ物が多い」、「提出物を出すのが遅れることが多い」割合が高い
- 中学生では、世話をしている家族が「いる」と回答した人は「いない」人に比べ、
 - 健康状態が「よくない・あまりよくない」、欠席を「よくする」、「たまにする」、遅刻や早退を「よくする」、「たまにする」と回答する割合が1割程度高い
 - 学校生活において「授業中に居眠りをする」、「宿題や課題ができないことが多い」、「持ち物の忘れ物が多い」、「提出物を出すのが遅れることが多い」の割合が高い

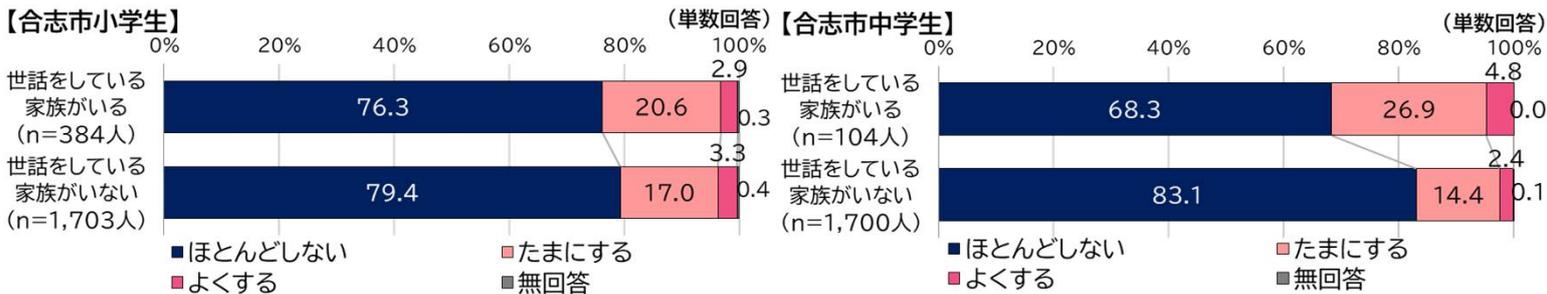
◆ 健康状態



◆ 欠席



◆ 遅刻・早退



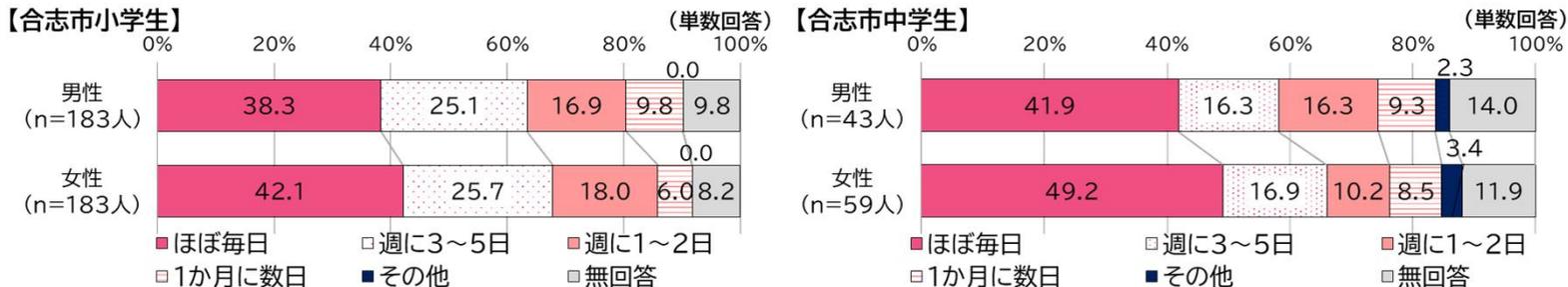
◆ 学校生活

	調査数(人)	調査結果 (%)										
		授業中に居眠りすることが多い	宿題や課題ができない	持ち物が忘れやすい	休むことが多い	部活動や習いごとを遅れることが多い	提出物を出すのが遅い	修学旅行などの宿泊行事を欠席すること	多保健室で過ごすことが多い	学校では1人で過ごすことが多い	少ない	友達と遊んだり、おしゃべりする時間が多い
合志市小学生	世話をしている家族がいる (n=384)	5.7	16.4	31.3	2.6	22.4	2.3	3.6	5.5	4.9	52.6	0.8
	世話をしている家族がいない (n=1,703)	5.2	13.4	22.8	1.7	16.0	1.2	1.5	4.5	4.0	61.1	1.5
合志市中学生	世話をしている家族がいる (n=104)	20.2	24.0	24.0	9.6	30.8	0.0	4.8	5.8	8.7	42.3	3.8
	世話をしている家族がいない (n=1,700)	12.9	15.9	18.9	2.8	18.2	0.5	1.1	4.1	4.1	57.1	3.1

(4)性別による世話の状況の違い

- 小学生では、女性の方が男性に比べ、
 - 世話の頻度については「ほぼ毎日」の割合がやや高い
 - 世話による制約については「自分の時間が取れない」「友だちと遊ぶことができない」で割合が高い
 - 世話について相談した経験ある人については、1割程度高い
- 中学生では、女性の方が男性に比べ、
 - 世話の頻度については「ほぼ毎日」の割合がやや高い
 - 世話による制約については「自分の時間が取れない」で回答割合が高い
 - 世話について相談した経験ある人については、1割程度高い

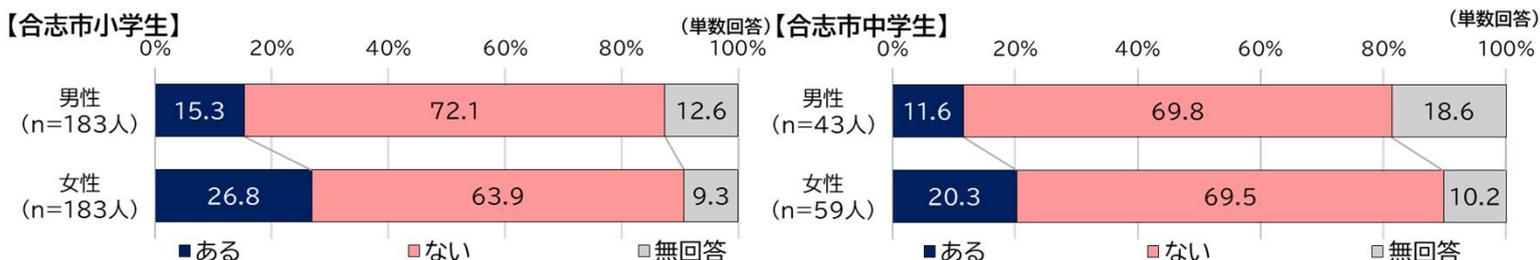
◆ 世話の頻度



◆ 世話による制約

		調査数(人)	ない	学校に行きたくても行けない	早退しても学校を遅刻・しない	宿題や勉強する時間がとれない	十分に眠れない	友だちと遊ぶことができない	部活動、または習いごとができない	進路の変更をした、または考えられている	自分の時間がとれない	その他	特にない	無回答
合志市小学生	男性	183	2.2	1.6	4.9	7.7	4.4	0.5	8.2	0.5	65.0	12.0		
	女性	183	0.0	2.2	6.0	7.7	8.2	0.0	16.4	1.6	64.5	10.9		
合志市中学生	男性	43	2.3	0.0	11.6	9.3	7.0	2.3	2.3	11.6	2.3	55.8	16.3	
	女性	59	0.0	0.0	10.2	10.2	10.2	0.0	0.0	22.0	0.0	54.2	16.9	

◆ 世話について相談した経験



(5)世話に費やす時間(平日)による学校生活への影響

● 小学生では

- 世話をする時間が7時間以上の場合、欠席を「たまにする・よくする」の割合は半数を超え、遅刻や早退を「たまにする・よくする」の割合は4割を超えている
- 学校生活の中では、「授業中に寝てしまうことが多い」、「持ち物を忘れてしまうことが多い」、「修学旅行などの宿泊行事を欠席する」、「友達と遊んだり、おしゃべりしたりする時間が少ない」といった項目が、世話に費やす時間が7時間未満の場合と比較して高い

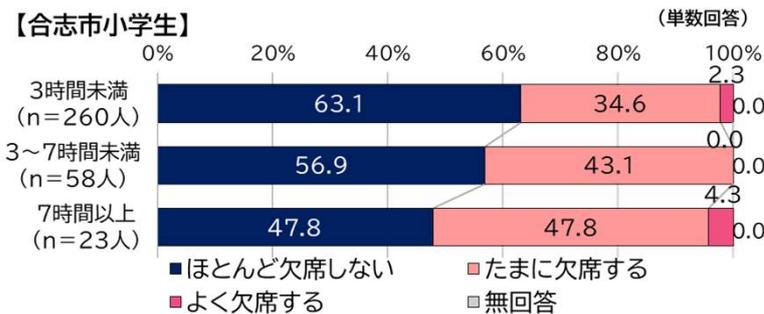
● 中学生では

- 世話をする時間が7時間以上の場合、欠席を「たまにする・よくする」、遅刻や早退を「たまにする・よくする」の割合が高い（*7時間以上を世話に費やす人の数が少ないため参考）

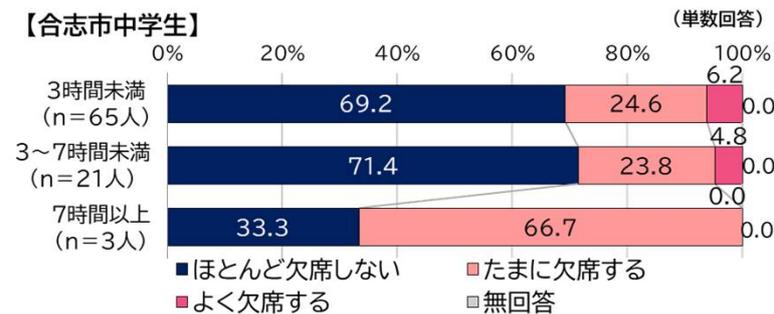
- 小学生・中学生ともに、長時間の世話により、通常の学校生活を送るのが難しい状況にあるこどもが一定数いると考えられる

◆ 欠席

【合志市小学生】

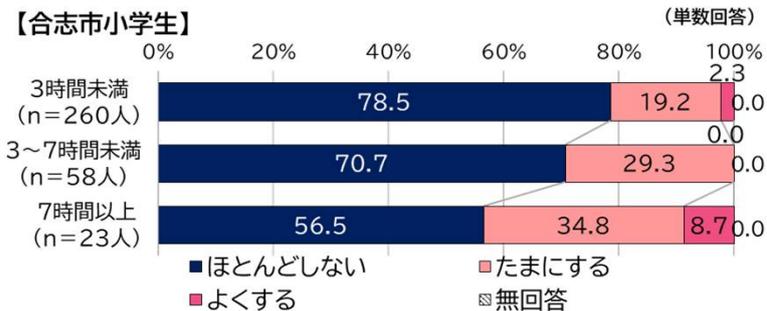


【合志市中学生】

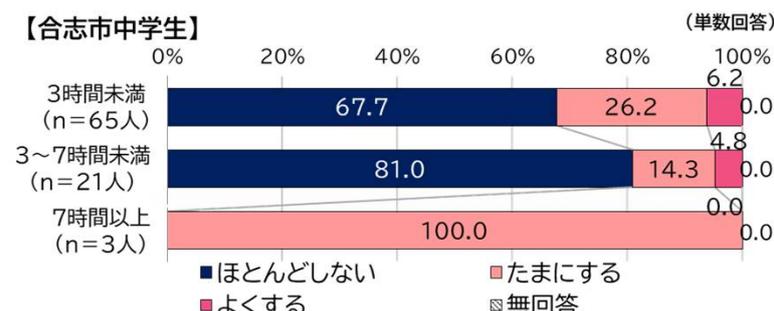


◆ 遅刻・早退

【合志市小学生】



【合志市中学生】



◆ 学校生活等であてはまること

	調査数(人)	(%)											
		授業中に居眠りする	宿題が多すぎてできない	持ち物が忘れてしまう	休むことが多い	遅い書類が多	提出しなげ	修学旅行などの宿泊行事を欠席する	多保健室で過ごす	学校が多い	少ない	おしゃべりする	友達と遊んだりする
合志市小学生	3時間未満	260	4.6	13.5	27.7	3.1	19.6	1.9	2.7	3.8	3.8	55.8	0.4
	3~7時間未満	58	3.4	27.6	34.5	0.0	29.3	0.0	6.9	8.6	5.2	50.0	0.0
	7時間以上	23	21.7	26.1	43.5	4.3	30.4	8.7	4.3	8.7	13.0	47.8	0.0
合志市中学生	3時間未満	65	18.5	27.7	24.6	10.8	35.4	0.0	6.2	3.1	9.2	44.6	3.1
	3~7時間未満	21	23.8	14.3	23.8	9.5	28.6	0.0	4.8	14.3	14.3	38.1	4.8
	7時間以上	3	66.7	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0

(6)世話を必要としている家族による状況の違い

- 小学生では、
 - ▶ 父母のみの場合は「家事(食事の用意、後片付け、掃除、洗濯、買い物)」、「外出の付き添い(買物や散歩など)」、「話し相手になったり感情面のサポート」をしている割合が高い
 - ▶ きょうだいのみ場合は、きょうだい「幼い」場合は「見守り」、「身体的介護(着がえやおふろ、トイレの手伝いなど)」の割合が高い
 - ▶ 「幼い」以外(きょうだい「病気や障がい」を抱えている場合等)では「家事」も高い
- 中学生では、
 - ▶ きょうだい「幼い」場合は小学生よりも「見守り」や「家事」、「きょうだいのお世話や保育所などへの送り迎え」の割合が高くなっており、小学生に比べて負担が大きくなっていると考えられる

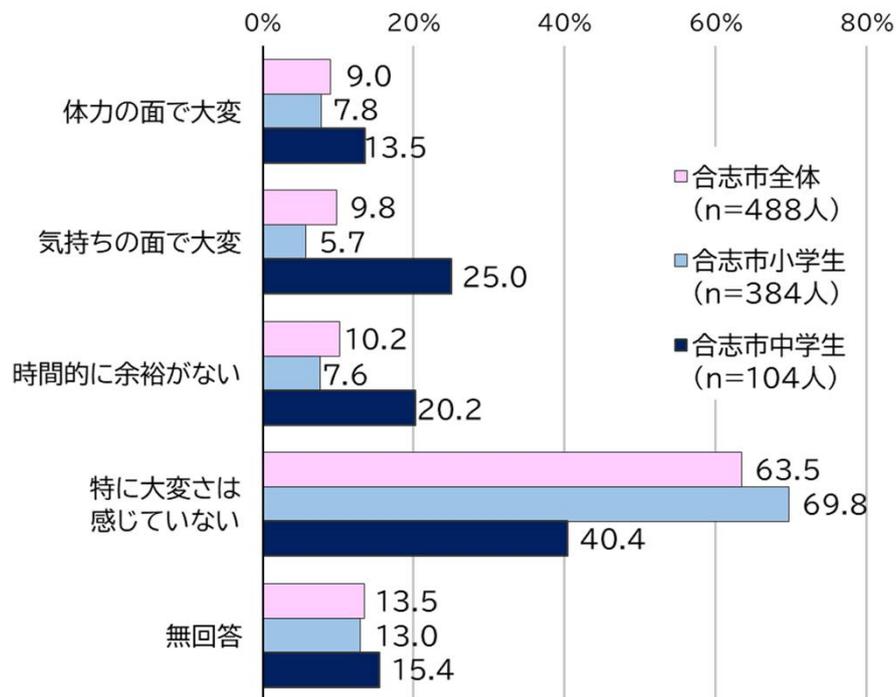
◆ 世話の内容

		調査数(人)	買い物	家事(食事の用意、掃除、洗濯、後片付け)	え保育所などへの送り迎え	きょうだい「幼い」のお世話	いおふろ・トイレの手伝い	身体的介護(着がえや手伝い)	物や散歩など(買い)	外出の付き添い	通院の付き添い	話し相手になったり感情面のサポート	見守り	ど通訳(日本語や手話など)	お金の管理	薬の管理	その他	無回答
合志市小学生	父母のみ	26	38.5	7.7	11.5	23.1	3.8	19.2	11.5	7.7	3.8	3.8	3.8	15.4				
	祖父母のみ	8	25.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	12.5	0.0	12.5	0.0	25.0	12.5				
	きょうだいのみ(幼い)	151	25.8	15.9	45.0	19.2	0.7	13.2	50.3	0.0	1.3	2.6	10.6	4.0				
	きょうだいのみ(上記以外)	47	34.0	12.8	31.9	10.6	0.0	8.5	46.8	0.0	0.0	2.1	12.8	14.9				
	複数人	114	31.6	10.5	18.4	20.2	2.6	13.2	21.1	0.9	4.4	6.1	11.4	19.3				
合志市中学生	父母のみ	5	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	60.0				
	祖父母のみ	3	33.3	0.0	0.0	66.7	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0				
	きょうだいのみ(幼い)	58	39.7	32.8	36.2	29.3	1.7	5.2	60.3	0.0	0.0	3.4	8.6	5.2				
	きょうだいのみ(上記以外)	12	33.3	0.0	8.3	25.0	8.3	16.7	25.0	0.0	0.0	16.7	25.0	0.0				
	複数人	14	35.7	0.0	7.1	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	35.7				

(7)世話の大変さと世話の内容について

- 小学生では、
 - 世話の大変さについて「特に大変さを感じていない」が約7割
 - 世話の大変さ別に世話の内容をみると、「体力の面で大変」「時間的に余裕がない」と回答した人は「見守り」の割合が大変さを感じていない人に比べて1割程度高く、「気持ちの面で大変」と回答した人は、「話し相手になったり感情面のサポート」の割合が他の回答者と比べて1割程度高い
- 中学生では、
 - 全体の約半数が世話をするに何らかの大変さを感じており、「気持ちの面で大変」「時間的に余裕がない」はそれぞれ2割以上となっている
 - 世話の大変さ別に世話の内容をみると、大変さを感じている人は、「家事」について大変さを感じていない人と比べて3割程度高く、「気持ちの面で大変」と回答した人は「外出の付き添い」が、「時間的に余裕がない」と回答した人は「身体的介護」の割合がそれぞれ高い

◆ 大変さ

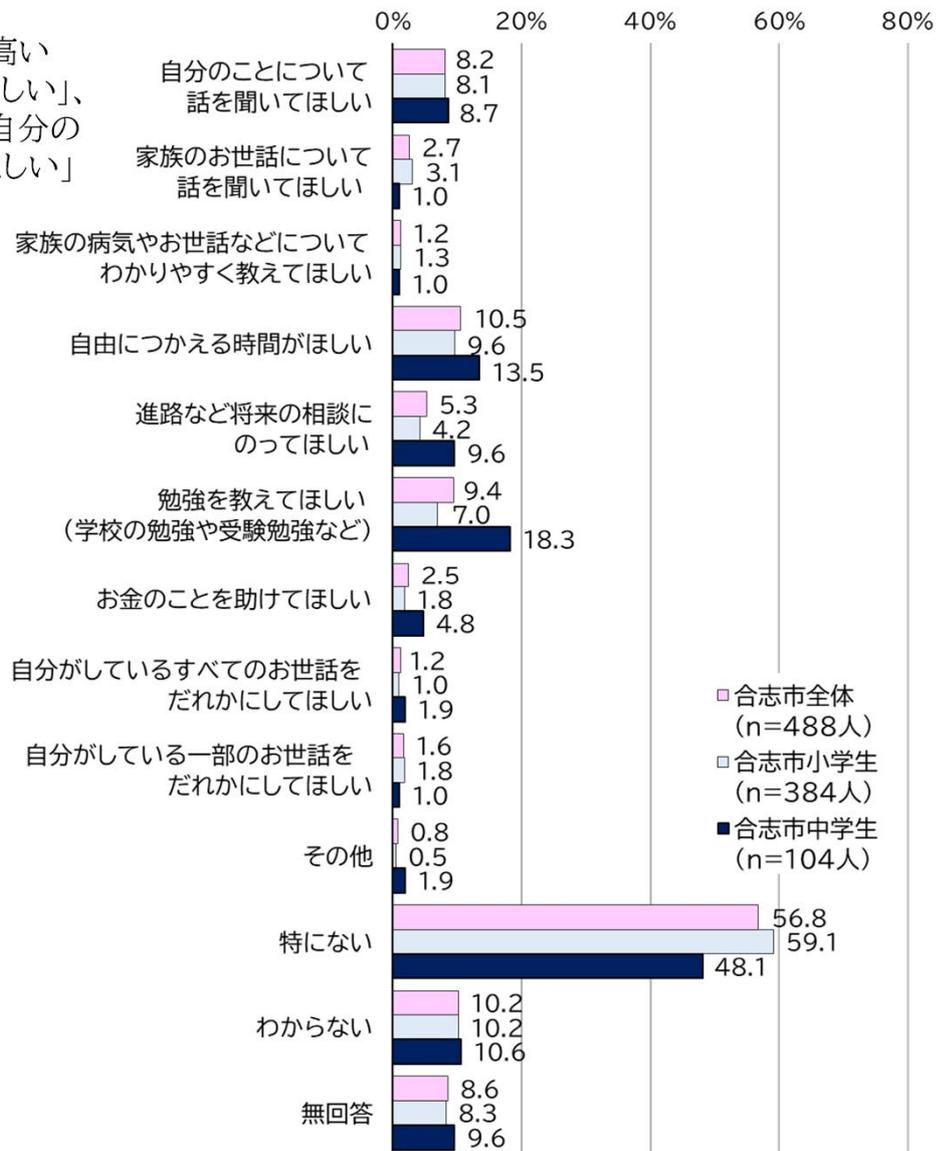


◆ 世話の内容

	調査数 (人)	世話の内容 (%)														
		買い物 (食料、掃除、洗濯、後片付け)	家事 (掃除、用意、洗濯、後片付け)	えんき (おむつ、おしりふき)	きょうふ (おむつ、おしりふき)	いんふ (おむつ、おしりふき)	おんふ (おむつ、おしりふき)	身ふ (おむつ、おしりふき)	物や散り (おむつ、おしりふき)	外出の付き添い (おむつ、おしりふき)	通院の付き添い (おむつ、おしりふき)	情話の相手になったり感情面のサポート	見守り	ど通 (おむつ、おしりふき)	お金の管理	薬の管理
合志市小学生	体力の面で大変	30	36.7	16.7	33.3	6.7	0.0	16.7	53.3	0.0	0.0	13.3	16.7	0.0		
	気持ちの面で大変	22	40.9	9.1	31.8	22.7	4.5	27.3	36.4	9.1	0.0	13.6	22.7	4.5		
	時間的に余裕がない	29	37.9	24.1	44.8	24.1	0.0	17.2	48.3	0.0	3.4	6.9	6.9	3.4		
	特に大変さを感じていない	268	31.3	11.6	33.6	20.9	1.5	11.2	36.9	0.4	3.4	3.0	10.4	8.6		
合志市中学生	体力の面で大変	14	57.1	21.4	28.6	14.3	7.1	14.3	50.0	0.0	0.0	7.1	14.3	14.3		
	気持ちの面で大変	26	57.7	11.5	19.2	38.5	7.7	11.5	34.6	0.0	0.0	11.5	15.4	3.8		
	時間的に余裕がない	21	57.1	23.8	42.9	33.3	9.5	0.0	57.1	0.0	0.0	4.8	4.8	9.5		
	特に大変さを感じていない	42	28.6	23.8	19.0	26.2	0.0	2.4	47.6	0.0	0.0	0.0	9.5	2.4		

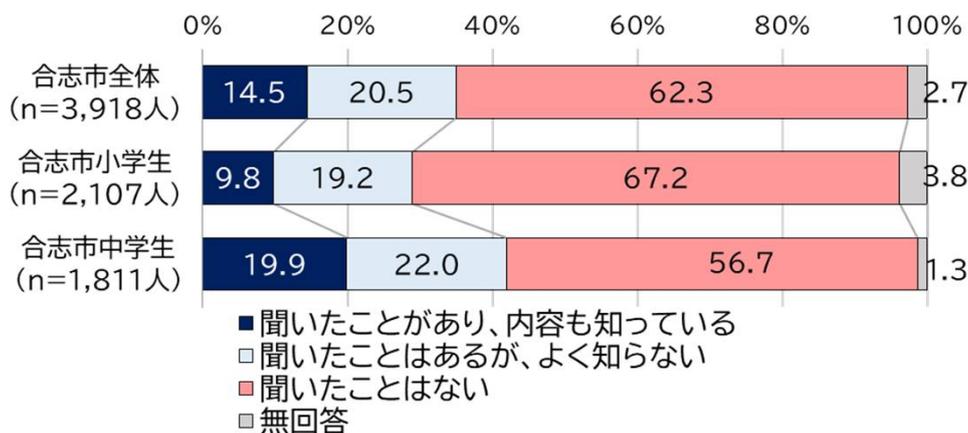
(8)学校や大人にしてほしいこと

- 小学生・中学生ともに、
 - 「特にない」が最も割合が高い
 - 「自由につかえる時間がほしい」、「勉強を教えてほしい」、「自分のことについて話を聞いてほしい」が他と比べて高い



(9)ヤングケアラーの認知度

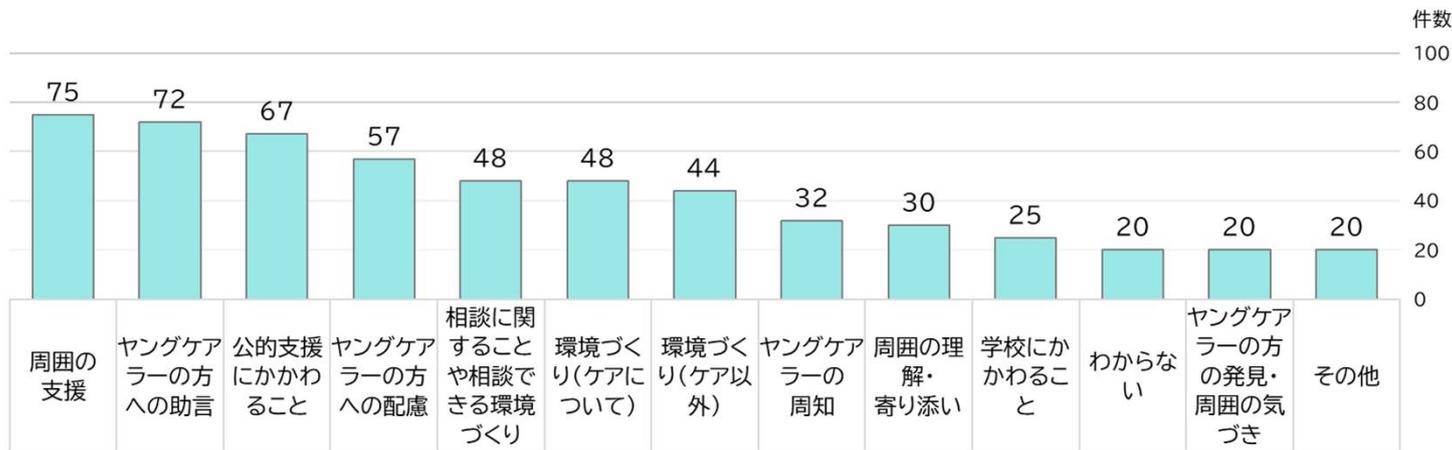
- 「聞いたことはない」が最も高く、小学生で67.2%、中学生で56.7%。次いで「聞いたことはあるが、よく知らない」、「聞いたことがあり、内容もよく知っている」と続く
- 小学生より中学生での認知が高いが、周知の必要性があると考えられる



自由意見分析: ヤングケアラーのために必要なこと・要望・困りごと

世話をしている家族がいないと回答した中学生への質問

- 「周囲の支援」「ヤングケアラーの方への助言」「公的支援にかかわること」など、多様な意見が寄せられている



課題と今後の取組みの方向性

課題	現状	今後の取組み
1. 家族の世話をしている小学生・中学生へ支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> ● 家族の世話をしている小学生は熊本県や全国の調査と比較して2倍以上 ● 小学生では「きょうだい」世話をしている割合が高く、「両親」の世話をしている割合は熊本県や全国と比べ高い ● 中学生においても「きょうだい」の世話をしている割合が高い ● 小学生・中学生ともに遅刻や早退・欠席など学校生活にも影響を与えている 	学校における見守り、スクールカウンセラー等と連携した早期把握の取組み
2. 相談しやすい環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ● 熊本県や全国と比較しても平均的な状況 ● 相談をしない理由については、「誰かに相談するほどの悩みではない」と考える人が多いが、「誰に相談して良いかわからない」「相談できる人がいない」「話しにくい」などの回答も一定数ある ● 世話をしている家族が父母の場合、「相談しても変わらない」と思うという悲観的な回答の割合が高い 	相談の場の必要性とともに、実際の相談例の紹介や相談しやすさを含めた、周知・啓発
3. ヤングケアラーの負担軽減	<ul style="list-style-type: none"> ● 世話をしている家族がいる人の中には、時間的に余裕がなく、自分の時間が取れないことに悩みを抱えている人が一定数いる ● ヤングケアラーの負担軽減には、世話を必要とする人自身に対するケアを充実させ、必要な人へ支援を届けることが必要 	子育て支援・介護サービス等の支援の充実

2024年(令和6年)9月
合志市役所 こども家庭課
女性・こども家庭班